

《キーワード》 口腔外科学

《担当者名》 永易 裕樹 村田 勝 志茂 剛 奥村 一彦

【概要】

公益社団法人日本口腔外科学会の認定医・専門医・指導医資格を取得するため、必要な顎顔面口腔外科学に関する知識、態度及び技能を習得するために演習を行う。

【学修目標】

1. 奇形・発育異常、炎症、嚢胞、腫瘍、外傷、顎関節疾患等の口腔疾患について検査を含めた診断に至る過程について説明できる。
2. 全身疾患を有する患者の外来手術管理について説明できる。
3. 入院手術管理について説明できる。
4. 別に定める認定医受験資格の取得に必要な手術から合計30例以上の執刀手術を実施する。
5. 専門医手術難易度区分表（別表5）の3分野【（1）執刀手術のイ）から二）の手術を除く】以上にわたる手術を、手術助手以上の責務を負って各分野から5例以上経験する。
6. 別に定める顎顔面口腔外科の全分野から合計100例以上の執刀手術を実施する。
7. 担当医として別に定める手術難易度区分表各分野から合計50例以上の入院症例の管理を経験する。
8. 口腔外科学に関して3編（日本口腔外科学会雑誌掲載論文1編を含む）以上の学術論文を発表する。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|---|---|--------------------------------|
| 1 | ガイダンス | 顎顔面口腔外科学に実践するために必要な知識、態度について説明する。 | 永易 裕樹 村田 勝 志茂 剛 奥村 一彦 |
| 2 | 歯・歯槽外科手術 | 歯・歯槽外科手術に必要な知識と技術を習得する。 | 永易 裕樹 |
| 3 | 消炎手術、良性腫瘍、嚢胞、腫瘤形成性疾患等の手術、唾液腺関連手術、上顎洞関連手術 | 奇炎症、嚢胞、腫瘍、唾液腺疾患について検査を含めた診断と治療を実践する。 | 奥村 一彦 |
| 4 | 顎顔面骨骨折手術 | 顎顔面骨骨折の観血的整復固定術を実践する。 | 村田 勝 |
| 5 | 顎矯正手術、顎顔面骨延長術、顎関節手術及び関連処置 | 基本的な顎矯正手術、顎顔面骨延長術、顎関節手術及び関連処置を実践する。 | 村田 勝 |
| 6 | 癌/前癌病変の手術、補綴前外科手術、歯槽骨延長術、唇顎口蓋裂手術、再建外科手術、口腔・顎・顔面インプラント手術 | 癌/前癌病変の手術、補綴前外科手術、歯槽骨延長術、唇顎口蓋裂手術、再建外科手術、口腔・顎・顔面インプラント手術を実践する。 | 永易 裕樹 |
| 7 | 口腔顔面痛、顎口腔機能障害、全身疾患の口腔症状、口腔粘膜疾患 | 医科歯科連携を図り、口腔顔面痛、顎口腔機能障害、全身疾患の口腔症状、口腔粘膜疾患の診断と治療を実践する。 | 永易 裕樹 |
| 8 | 周術期の気管内挿管、気管切開などの気道確保を含む気道管理、高カロリー輸液や経腸栄養法などの栄養管理 | 周術期の気道管理、高カロリー輸液や経腸栄養法などの栄養管理を実践する。 | 永易 裕樹 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

口頭試問又は筆記試験

【教科書】

演習中に指示する。

【参考書】

演習中に指示する。

【備考】

外来・病棟及び手術室での実習を含む。

【学修の準備】

文献reviewを行ったうえで、evidenceの有る文献を批判的に精読し、論文の問題点と今後の研究課題について考察しておく。